

## セルフ&ソフトクロー징装置付き ステンレス鋼製スライドレール ESR4670 取付説明書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取付作業前に本説明書をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。誤った取り付けは、思わぬけがをする恐れがありますので、おやめください。本取付説明書は、セルフ&ソフトクロー징装置付きスライドレールESR4670を、キャビネットおよび引出しに取り付ける際の一例を示しています。

本取付説明書は、作業の経験の少ないお客様が木製家具にこの製品を取り付けることを想定しています。したがって、作業を行うお客様の経験の度合いによっては、不要の部分もあります。このような場合は省略されても差し支えありません。しかし、作業前にすべての項目をお読みになり、その後作業を進めください。

本取付説明書は、チェックリストを兼ねています。項目番号の前にある[ ]に、チェックを入れながら作業していただくと、作業工程の確認ができるようになっています。

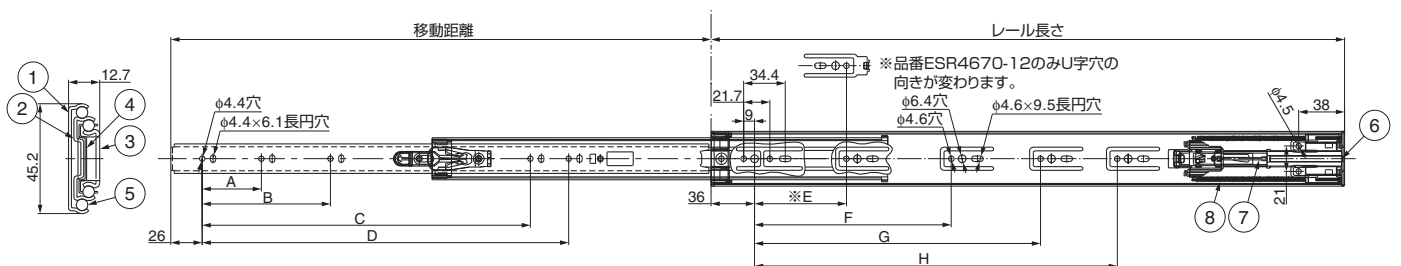
### セットの明細

- [ ] 1.セルフ&ソフトクロー징装置付きステンレス鋼製スライドレールESR4670 ...2本 (本書では「レール」と表現します)
- [ ] 2.取付説明書(本紙)

### 必要な工具

- [ ] 1.プラスドライバー
- [ ] 2.曲尺または物差し
- [ ] 3.鋼製巻尺
- [ ] 4.水平器
- [ ] 5.鉛筆または印をつける道具
- [ ] 6.ゴムハンマ、プラスチックハンマなどの頭部の柔らかいハンマまたは鋼製ハンマと木片
- [ ] 7.ねじの下穴をあける工具(錐または径2.5 mm 以下のドリルとそれを動かす工具)

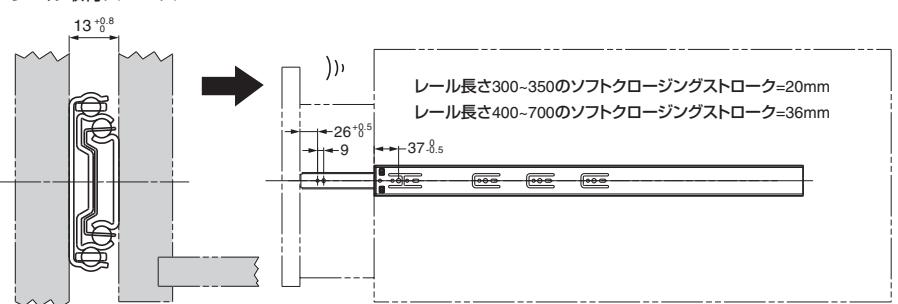
### 各部の名称



No	部品名
①	アウターメンバー
②	中間メンバー
③	インナーメンバー
④	リテーナー
⑤	ボール
⑥	ダンパーケース
⑦	シャフト
⑧	スプリング

●レールは左右共通です。

レール取付スペース



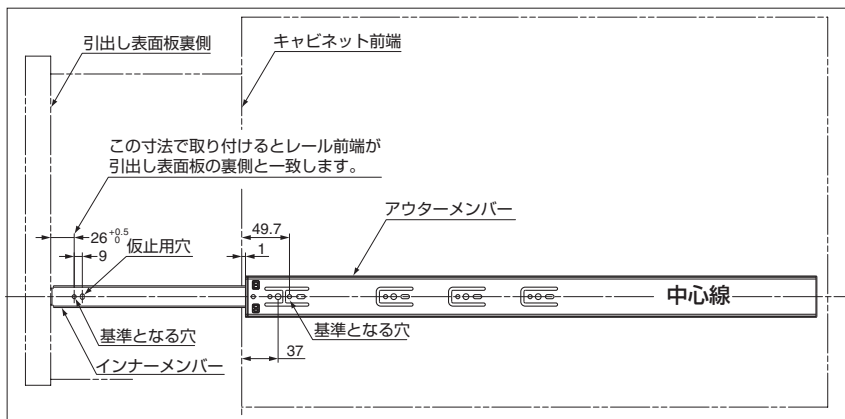
品番	レール長さ	移動距離	A	B	C	D	E	F	G	H	耐荷重	
											N/ペア	kgf/ペア
ESR4670-12	300	265	-	-	-	174	145	-	-	-	157	16
ESR4670-14	350	340	-	-	-	224	151	-	-	-	157	16
ESR4670-16	400	400	96	-	-	256	167	-	-	-	196	20
ESR4670-18	450	450	128	-	-	306	119	215	-	-	294	30
ESR4670-20	500	500	96	160	-	344	119	279	-	-	343	35
ESR4670-22	550	550	96	160	-	394	119	215	311	-	343	35
ESR4670-24	600	600	128	192	-	444	119	247	375	-	343	35
ESR4670-26	650	650	128	224	416	494	119	215	311	407	343	35
ESR4670-28	700	700	128	224	480	544	119	215	343	471	343	35

1.キャビネットと引出しの寸法、レールの機能を確認します

- [ ] [1] レール取付スペースが大きすぎたり小さすぎたりすると、滑らかに動かなかったり、寿命が著しく短くなったり、セルフ&ソフトクロージング装置が動かなくなったりすることがあります。図面を見て確認してください。引き出しの最大幅はレール長さ+200mmとなります。
- [ ] [2] レールを引き出していくと、セルフ&ソフトクロージング装置から中間メンバーが外れることを確認してください。
- [ ] [3] レールをゆっくりと閉じると、レール長さ350mm以下では完全に閉まる約 20 mm 前、レール長さ400mm以上では36mm前で、抵抗を感じます。力を入れてさらに押し、レールが自動的に、ゆっくりと引き込みます。これが、セルフ&ソフトクロージング装置の機能です。2本とも確認してください。

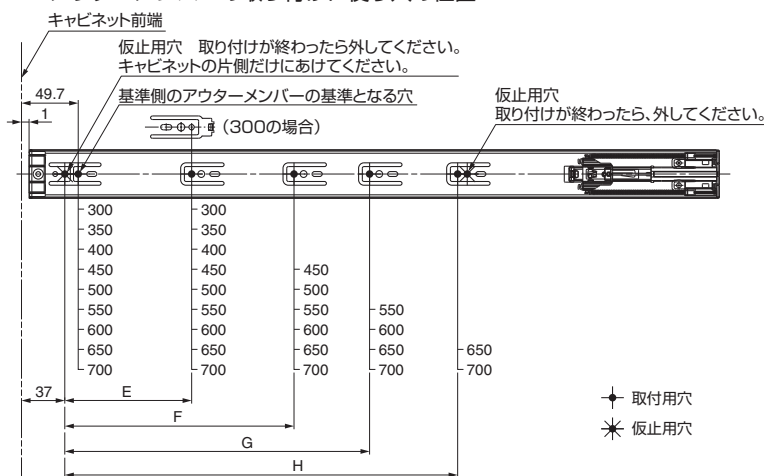
2. レールの取り付け位置を決めます

- [ ] [1] レールを取り付けようとする位置に、アウターメンバーとインナーメンバーの中心線を引いてください。



- [ ] [2] キャビネット側（アウターメンバー取付側）  
図1に示した穴の位置に印をつけてください。図のアウターメンバー左端から 48.7 mm の穴は、片側(任意)だけにしてください。この側を『基準側』と呼びます。

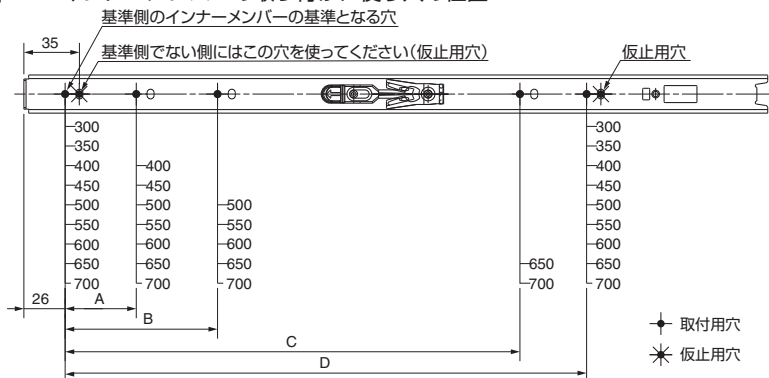
図1 アウターメンバーの取り付けに使う穴の位置



- 注.
1. 取り付けは、中間メンバーを動かして、アクセスホールを利用して行ってください。
  2. 穴位置は、P.1(表紙)表を使ってください。
  3. 仮止め用穴は、それぞれのレールの取付穴のうち図の向きの最も右側の穴を使ってください。

- [ ] [3] 引出し側（インナーメンバー取付側）  
図2に示した穴の位置に印をつけてください。図のインナーメンバー左端から 26 mm の穴は、片側(任意)だけにしてください。この側を『基準側』と呼びます。

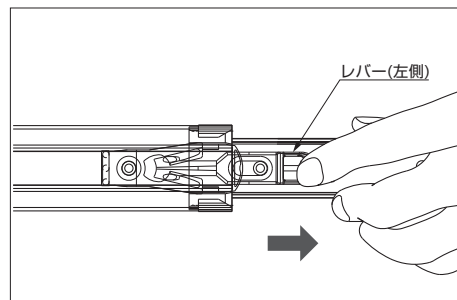
図2 インナーメンバーの取り付けに使う穴の位置



※基準側とは、組立後に行う調整の基準となる側です。

### 3. インナーメンバーを外します

- [ ] [1] インナーメンバーを引き出すと、グレーのプラスチック製脱着レバーが見えます。このレバーを手前(→)に同時に動かし、インナーメンバーを手前に引くと中間メンバーから外れます。アウターメンバーと中間メンバーは外れません。
- [ ] [2] 外したインナーメンバーには、不用意な力がかからないように保管してください。



### 4. キャビネットにアウターメンバーを仮止めします

- [ ] [1] 2. [2] で印をつけた場所に、穴あけ工具で下穴をあけてください。深さは、5 mm を超えないようにしてください。穴は深くあけるとキャビネットを貫通することがあります。キャビネットの板厚が薄い場合は、別途ねじをご用意ください。
- [ ] [2] 基準側アウターメンバーの基準穴と右端の仮止用穴に、アウターメンバーが動かないようにねじを締めてください。これは固定のための作業ではありません。この後で、アウターメンバーを調整することがあります。強く締めすぎると調整できないのでご注意ください。中間メンバーは外れないため、仮止用穴が見えないことがあります。その場合は中間メンバーをずらし、中間メンバーに開いている穴(アクセスホール)を利用してください。
- [ ] [3] 基準側でないアウターメンバーの2つの仮止用穴に、アウターメンバーが動かないようにねじを締めてください。これは固定のための作業ではありません。この後で、アウターメンバーを調整することがあります。強く締めすぎると調整できないのでご注意ください。
- [ ] [4] 基準側アウターメンバーが水平についているかどうかを水平器で調べてください。狂っている場合、柔らかいハンマで叩くか、木片を当て木にしてハンマで叩いて調整してください。
- [ ] [5] 基準側の軽く締めていたねじを、しっかりと締めてください。残りの穴は、まだねじを入れて締めないでください。
- [ ] [6] 基準側アウターメンバーを基準にして、両側のアウターメンバーが水平についているかどうかを確認してください。狂っている場合、[4] と同じ方法で調整してください。
- [ ] [7] 基準側でないアウターメンバーの軽く締めていたねじを、しっかりと締めてください。残りの穴は、まだねじを入れて締めないでください。

### 5. 引出しにインナーメンバーを仮止めします

- [ ] [1] 2. [3] で印をつけた場所に、穴あけ工具で下穴をあけてください。深さは、5 mm を超えないようにしてください。穴は深くあけると引出しを貫通することがあります。引出しの板厚が薄い場合は、別途ねじをご用意ください。
- [ ] [2] 基準側インナーメンバーの基準穴と右端の仮止用穴に、インナーメンバーが動かないようにねじを締めてください。これは固定のための作業ではありません。この後で、インナーメンバーを調整することがあります。強く締めすぎると調整できないのでご注意ください。
- [ ] [3] 基準側でないインナーメンバーの2つの仮止用穴に、インナーメンバーが動かないようにねじを締めてください。これは固定のための作業ではありません。この後で、インナーメンバーを調整することがあります。強く締めすぎると調整できないのでご注意ください。
- [ ] [4] 引出しを水平で安定した場所におき、インナーメンバーが水平についているかどうかを調べてください。狂っている場合、柔らかいハンマで叩くか、木片を当て木にしてハンマで叩いて調整してください。
- [ ] [5] 基準側の軽く締めていたねじを、しっかりと締めてください。残りの穴は、まだねじを入れて締めないでください。

- [ ] [6] 基準側インナーメンバーを基準にして、両側のインナーメンバーが水平についているかどうかを確認してください。傾いている場合、[4] と同じ方法で調整してください。
- [ ] [7] 基準側でないインナーメンバーの仮止めしていたねじを、しっかりと締めてください。残りの穴は、まだねじを入れて締めないでください。

## 6.引出しをキャビネットに差し込みます

- [ ] [1] 中間メンバーに組み込まれているリテーナーを左右とも、手前までいっぱいに引いてください。
- [ ] [2] 中間メンバーをキャビネットの奥まで押し込んでください。
- [ ] [3] インナーメンバーを静かにリテーナーのボールの間に、両側とも差し込んでください。
- [ ] [4] 引出しをゆっくりと奥まで押しで完全に閉じてください。
- [ ] [5] ゆっくりと全開、全閉を数回繰返してください。
- [ ] [6] 滑らかに動かない場合はもう一度引出しを外し、引出しの水平の度合いなどを確認して調整してください。セルフ&ソフトクローリング装置が働いている箇所は、開く時に重く感じられます。

## 7.セルフ&ソフトクローリング装置が正常に働いているかどうかを確認してください

- [ ] [1] 1. [3] と同じ方法で、セルフ&ソフトクローリング装置の機能を確認してください。
- [ ] [2] 閉じない場合は、いちど『カチッ』と音がするまで押込んで前記[1]を繰り返してください。

## 8.アウターメンバーを固定します

- [ ] [1] 引出しを 3. の手順で外してください。
- [ ] [2] 図1の取付用穴全部にねじを締め込んでください。仮止めに使ったねじは外してください。ねじの数が不足する場合は、仮止めに使用したねじを使ってください。

## 9.インナーメンバーを固定します

- [ ] [1] 図2の取付用穴全部にねじを締め込んでください。仮止めに使ったねじはそのままでも外しても構いません。そのまま使う場合は、同じように締め込んでください。ねじの数が不足するときは、仮止めに使用したねじを外して使ってください。

## 10.引出しをキャビネットに再挿入します

- [ ] [1] 6. と同じ操作で、引出しをキャビネットに差し込んでください。
- [ ] [2] 7. と同じ操作で、セルフ&ソフトクローリング装置の機能を確認してください。

## 11.これですべての作業が終了しました。

- [ ] [1] この取付説明書はキャビネットの引出し操作の邪魔にならない位置に貼るなどをして保管してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

電話番号 **03 (3864) 1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

**SUGATSUNE** **スガツネ工業**  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録  
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター  
<http://www.sugatsune.co.jp/>

2016.05 0986-2